

# 介護大改革時代 勝ち残り対策セミナー

参加費  
無料  
(先着40名)

5月26日参議院本会議で「改正介護保険法」が可決・成立しました。  
日本が抱える超高齢化問題への取組として、2025年にあるべき姿「地域包括ケアシステム」を目指し、医療と介護の一体改革が行われる2018年の大改革を前に、介護事業者の経営環境が激変する改革の最新情報をお届けします。

主催



西日本オフィスメーション株式会社

勝ち残る為の必須情報を2つの視点でお届けします。

2017年7月27日(木) 13:00~15:30  
(受付12:30~)

広島県社会福祉会館(会議室1・2)  
広島市南区比治山本町12-2

※駐車場のご用意はありませんので、公共交通機関、  
または周辺有料駐車場のご利用をお願い致します。

— 講師 —

広島県老人福祉施設連盟副会長  
広島県社会福祉法人経営者協議会会長  
広島県社会福祉協議会副会長  
社会福祉法人 本永福祉会 理事長  
本永 史郎 氏

第1部 13:00~14:00

## 「新しい時代に対応した福祉の提供ビジョン」 — 地域包括ケアシステムの構築と深化 —

地域包括ケアシステム構築に向けての平成30年の制度改正。その基盤としての一億総活躍社会に基づく介護職の平均賃金アップによる人材不足問題への対策、高齢者と障がい児者への総合的な支援提供を実現する共生社会、医療と介護の一体改革、制度の持続可能性の確保など、解決すべき課題が山積みの制度改正の最新動向を徹底解説します。

第2部 14:15~15:15

## 「平成30年度介護報酬改定の課題と方向性」

平成30年は介護報酬と診療報酬の同時改定です。持続可能性を高める観点から介護報酬はマイナス改定となると予想されます。そのためサービス事業者の経営環境は益々厳しさを増してきます。そんな中勝ち残って行くために早期に情報を収集して対策を講じることが重要となります。本セミナーではその情報収集の一環として今回の改定でポイントとなる、求められる介護サービスを提供するための介護人材の確保、介護ロボットや書類仕事の半減などのサービスの効率化、居住系サービスにおける看取りに関する医療と介護の連携など、課題とその方向性について徹底解説します。

セミナーに関する  
お問合せは…



西日本オフィスメーション株式会社 広島市西区商工センター3-5-16 TEL:082-270-3811